『よもよもブックス 長岡の子ども100冊』は、こんな本です↓

0歳から中学生までの長岡の子どもたちに読んでほしい本を、対象年代別にさまざまなジャンルから選んだ、よりすぐりの100冊です。
今号のヤンジンではその中から「中高生にオススメの10冊」を紹介しています。

本を読んだらお気に入りの1冊に投票しよう！
ナンバーワンを「よもよも大賞」に決定します！

よもうよ もっと！
よ も
よ も
ブックス
長岡の子ども100冊

「よもよも大賞」の投票はこちらから

よもよもブックス 長岡の子ども100冊

●本の表紙掲載については、出版社の許諾を得ています。
編集・発行 長岡市立中央図書館（0258-32-0658）
図書館HP https://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp
図書館メールアドレス nagaoka@lib.city.nagaoka.niigata.jp

WE'RE YOUNG-JIN

長岡市立中央図書館中高生向け広報誌
ヤンジン特別号 2022.8

特集
『よもよもブックス』

特集
よもうよ もっと！
よ も よ も ブックス

中高生向けをピックアップ！

『都会のトム&ソーヤ』
はやみね かおる／著　講談社
（現在19巻まで刊行中）

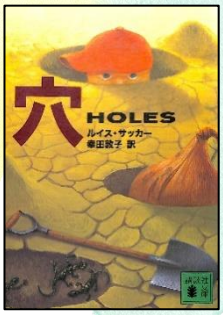
謎のゲームクリエイターを追いかけ奮闘する中学生コンビの内人と創也。持前のサバイバル力と頭脳を駆使し、謎の人物の正体を突き止めることはできるのか!?わくわくどきどきに満ちた冒険ストーリー。

『ミライの授業』
瀧本 哲史／著　講談社

どんな時代にも未来を見すえ新しい道を切りひらいてきた人たちがいます。その先人達の話から未来をつくる5つの法則を紹介します。
「未来は、つくることができる」
無限の可能性を秘めたみなさんへの著者からのメッセージです！

『穴』
ルイス・サッカー／著　講談社

先祖代々にかけられた呪いのせいで、無実のスタンリーは少年院に送られることになった。そこはかわいた大地にひたすら穴を掘り続ける過酷な作業場。スタンリーはここでも呪いによって窮地に立たされる。この状況を、スタンリーはどうやって打破するのでしょう!?



『西の魔女が死んだ』
梨木 香歩／著　新潮社

中学生のまいは学校へ行くことが苦痛になり、しばらく田舎のおばあちゃんのもとで暮らすことになった。規則正しい魔女修行の生活はまいを日に日に元気にさせていき…。まいとおばあちゃんが過ごした優しい時間に胸が温かくなります。

特集

よもうよ もっと！

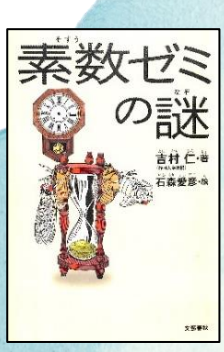
よもよもブックス

中高生向けをピックアップ！

これから未来を創造するみなさんが、
道しるべになるような本と出会えることを願っています！

『精霊の守り人』
上橋 菜穂子／著　新潮社

バルサは腕利きの女用心棒。ある時、異界の精霊を体に宿し、命をねらわれる皇子を守るよう妃にたのまれた。精霊とは何か。皇子が生きのびる方法はあるのか？怒涛の展開に目が離せません。痛快冒険ファンタジー。



『素数ゼミの謎』
吉村 仁／著　文藝春秋

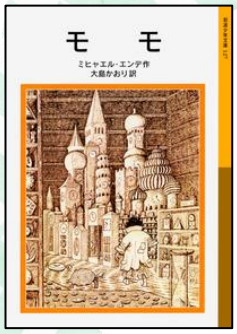
アメリカに 13 年、あるいは 17 年に一度だけ大量発生するセミがいます。13 と 17 は素数であることから「素数ゼミ」と名付け、その生態の謎を解き明かしたのがこの本の著者であり、生物学者である吉村仁教授です。みなさんも素数ゼミの謎にせまってみませんか。

『夏の庭　The Friends』
湯本 香樹実／著　新潮社

死への好奇心から、３人の少年はひとり暮らしのおじいさんを「観察」するようになった。観察を始めてから、無気力に見えたおじいさんは次第に元気になっていき、少年たちとふれあうようになります。おじいさんとの交流そして別れを経て、少年たちが見つけたものとは―。

『カラフル』
森 絵都／著　講談社

死んだはずのぼくの前に天使が現れ、抽選の結果、下界で再挑戦できる権利が当たったと言う。別人であり自殺を図った少年の身体に「ホームステイ」し、生前におかした自分の罪を思い出さなければならない…。人生の再挑戦で、色あせた世界がカラフルに彩られ、生きる喜びが湧き起こります！



『モモ』
ミヒャエル・エンデ／作
大島かおり／訳　岩波書店

人間の「時間」に目を付けた灰色の男たちが、人々から時間を奪っていく。影響された人は、時間節約を訴え次第に笑顔が減り、心も貧しくなっていった。時間どろぼうにぬすまれた時間を取り戻すために、不思議な力を持つ少女モモが奮闘する物語。

『なぜ僕らは働くのか』
池上 彰／監修　学研プラス

世の中のしくみや将来の働き方、働く意味とは？やりたい仕事はどうやって見つける？など、今疑問に思っていることが、この本を読めば、なるほど！と納得できるかもしれません。少し未来のことを考えてみませんか？